



岡山市区づくり推進事業助成申込書
(地域活動部門)

令和4年1月18日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ 団体名 おかやまし おみずかんこうしんこうかい
岡山市近水観光振興会

所在地

連絡先
フリガナ
代表者

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	地域出身の偉人である緒方洪庵、木下利玄の事績等を広め継承するための取組み
事業実施小学校区・地区	足守中学校区
事業実施回数	新規 ・ 継続 回目 / 【 年度から】
課題	※地域の実情と解決をはかりたい課題、事業実施の必要性について記載してください。 北区足守地域は、岡山市中心部から北西約16kmに位置し、かつて吉備文化の発祥の地として広く知られた地域である。特に、地域を代表する歴史文化施設の旧足守藩の庭園「近水園」をはじめ、歌人の木下利玄や蘭学者・蘭方医の緒方洪庵等に係る生家建物や生誕地遺構、そして関連する文化・歴史的な事績等は、地域住民の地道な活動等により今日まで伝承されている。また、かつての陣屋町の面影を残す江戸・明治期の武家屋敷や格子窓・なまこ壁等の民家が建ち並ぶ街並みは、地域を特徴づける風景ともなっている。こうしたなか、地域の歴史文化を次世代へ着実に継承し、また当該文化史跡等を市内外に対して広く周知する等の広範な取組みや発信力等が現在大きな課題となっている。
事業の目的	※事業を実施する「目的」を記載してください。 岡山市における主要な歴史文化史跡である北区足守地域の旧足守藩の庭園「 ^{おみず} 近水園」をはじめ、当該地区出身で歴史上に名を残す歌人の木下利玄や蘭学者・蘭方医の緒方洪庵等に係る生家建物や生誕地遺構等の歴史文化を中心として、当該偉人の事績等を顕彰し、末永く伝承することを目途に、市内外への広範な周知や、次世代への継承を目的としている。

事業の内容・感染防止対策の内容	※具体的に実施する活動内容を箇条書きで記載してください。 1. 公民館講座の一環として、一般自由参加による足守ウオーク(歴史散策等)10回/年のうち、近水園をはじめ、木下利玄生家や緒方洪庵生誕地等をメインとした歴史散策、顕彰活動を行う。 2. 地域出身の偉人である緒方洪庵及び木下利玄を地域全体で顕彰し、次世代へ末永く伝承するために、平成3年に緒方洪庵作文コンクールを創設し、また平成9年からは木下利玄作文コンクールを併設し、爾来、現在まで足守小学校及び堂明小学校の6年生、及び足守中学校の2年生を対象として、緒方洪庵作文コンクール、木下利玄作文コンクールを実施してきた経緯がある。令和3年度には緒方洪庵作文コンクールについては第30回、そして木下利玄作文コンクールは第24回と実施回数を重ねている。 3. 足守地域の歴史文化に係る具体的な広報活動については、地区の住民がボランティアガイドとして、一般観光客の求めに応じて、過去史跡等のガイドを実施してきた経緯があるが、担当者の高齢化等により、現在は実施していない。但し、市内で開催される学校関係者や医療関係者等の特定の学会オプションツアーや、緒方洪庵、木下利玄に係わる足守の歴史文化遺構の視察を目的とした団体等に対しては、今後も適切な対応、案内ができるよう取組む。 4. 足守中学校区を主体として、現在取り組んでいるが、今後より広がり可能な取り組みを目指す。 (事例)隣接した高松中学校との協働について 令和3年11月18日に高松中学校1年生が、学校との事前協議を経て学校事業「地域調べ」として足守地域に自転車で来た。各班5～6人前後で近水園ほかの施設を巡回し、事前に調べた足守の歴史や「足守」の名前の由来、或いは緒方洪庵・木下利玄に係る歴史文化等、また地域を巡って再発見したことや疑問に思った事柄等について、地域調べの最後に各班からの質問等に対する質疑応答の機会を設けて対応した。今後もこの事業を継続し、同時に同様な地域外との連携を深める取組みを進める。 ※新型コロナウイルス感染防止対策について 上記の事項の開催に際し、例えば、緒方洪庵・木下利玄作文コンクールについては、選考審査検討会や入賞者表彰式の開催等にあたり、会場内での換気など3密を避けると同時に、会場入口での参加者名簿の記録や参加者の検温、手指のアルコール消毒の徹底を図り、開催している。 ※実施する感染防止対策の内容・方法など、具体的に記入してください。
期待される成果・目標	※事業実施することで、変化すること、期待している成果、事業実施後にどこまで到達しておきたいか「目標」を記入してください。 地域の偉人である緒方洪庵、木下利玄について、広く知って頂き、また同時に地域で末永く継承できるよう、ホームページ等でのより広範な広報活動等の取組みや、顕彰の柱としての作文コンクールの実施等による次世代への地域特有の歴史文化の継承について、地域住民と共に着実に行うことにより、地域の文化、伝統を守り、また岡山市の歴史文化の一層の向上を図る一助を担いたい。

企画 などの 工夫	※通常、日常的に実施している事業をそのまま提案された場合は、対象とならない可能性があります。区づくり推進事業の申請にあたって、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をしばったのかなど、企画にあたっての工夫をお書きください。 (地域の視点、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をしばったのか) 1. 作文コンクールに関しては、郷土の偉人を顕彰するため、小学校及び中学校教育の一環としての取組みができるよう、学校関係者と連携を図り、次世代へ地域の歴史文化の継承並びに地域からの文化の発信を目指し、その都度、そのあり方について、開催内容等について検討、工夫している。 2. 作文コンクールをはじめとした種々の顕彰への取組みを契機として、緒方洪庵、木下利玄に関する学習により、親から子へ地域の歴史文化が語り継がれるよう地道な取組みを継続する。 (事業の目的を達成するための工夫) 例えば、緒方洪庵・木下利玄作文コンクールの開催を広く周知するため、令和3年8月に、「近水園」や木下利玄、緒方洪庵の紹介案内を主体とした足守の歴史文化を広く周知するためのホームページを立ち上げた。今後も、当該ホームページをより活用する等により、木下利玄や緒方洪庵の顕彰、及び足守地域の各種催しについても、タイムリーな広報等により、より広範な取組みを工夫する。
協働 する 団体 等	※事業実施にあたり協働することを想定している団体・企業・大学等の名称とその団体間の役割分担について記載してください。あるいは提案団体が既に協働組織となっている場合は、事業実施メンバーの備考欄に団体名をご記入ください。 足守地域の歴史文化の顕彰や観光振興を目途として、当該事業活動に対して賛同された会員（年会費を納めた会員の団体である「岡山市近水観光振興会」）を主体として、足守学区連合町内会、大井・福谷・日近・岩田地区連合町内会、婦人会、足守小学校、蛍明小学校、足守中学校等の学校関係者と協働して実施している。
事業 の 情報 公開	※区づくり推進事業は、広く区民への情報提供することが義務づけられています。地域住民をはじめ区民への情報提供、あるいは情報公開の仕方についてご記入ください。 岡山市近水観光振興会のホームページや、新聞社等の広報を通じて広く情報公開している。
学区 地区 への 広がり	※小学校区・地区より狭い範囲（単位町内会等）での事業を実施される場合は、学区・地区等への活動の広がりや課題の共有などをどのように進めていきますか。取組方について記載してください。

前年度からの見直し拡充点	※継続事業で申請される場合は、前年度の事業の成果を踏まえ、今年度の事業の改善・拡充点を記載してください。また審査会での助言・コメント等について改善・拡充したこと、改善・拡充ができなかった場合は、改善・拡充ができなかった理由を記載してください。
次年度以降の予定	※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。 ① 次年度以後の活動計画 1. 会員の高齢化等による会員の減少により、運営事業費が減少傾向にあるが、新規会員の入会等を鋭意図り、継続的な取組みができるよう学校関係者や児童生徒をはじめとした地域住民と共に、今後もより努める。 2. 隣接した高松中学校との連携を深めると共に、他の地域（バス等を利用して足守に来られる学校関係者（児童、園児を含める）等）とも積極的な対応を図る。 3. ホームページの活用等、広報活動の充実をより進める。 ② 資金の確保について ☒次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☐（ ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策：
その他PRしたい点	

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月	
5月	緒方洪庵・木下利玄の顕彰に係る実行委員会及び内部監査等
6月	・ 同上実行委員会、及び学校関係者等との協議 ・ 広報活動のあり方の検討会（年間を通じ、随時、定期的に開催する）
7月	
8月	同上広報活動のあり方の検討会
9月	同上実行委員会、及び顕彰作文の取りまとめ
10月	同上実行委員会、及び地域外との校外学習等に関する事前調整
11月	・ 同上実行委員会、及び募集作文の審査選考、関係者との協議 ・ 地域外からの校外学習等の受け入れ
12月	同上実行委員会、及び作文入賞者の決定・表彰式開催
1月	顕彰のあり方に関する反省会 例年、1月又は2月に緒方洪庵等の顕彰事業の足守散策を実施
2月	
3月	顕彰事業の足守散策に関する次年度計画等に係る企画会議

収支予算書

収入

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内 容
岡山市補助金	0	262,400	
協賛金	0		
負担金	0		
広告料	0		
寄附金、他収入	0	59,000	会費及び寄付金
収入合計	0	321,400	

支出

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	0	90,000	賞状、賞状盾ほか (入賞者1人あたり:5,000円×15人+15,000円)
②食糧費	0	10,000	会議用の湯茶
③印刷製本費	0	85,000	散策マップ、ガイド資料、作文製本費他
④燃料費			
⑤光熱水費	0	0	
⑥通信運搬費	0	20,000	関係者への案内等の通信費
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料	0	1,000	公民館等の使用料
⑩原材料費			
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費	0	50,000	審査謝礼、うち校正費用含む (約1ヵ月間の審査作業、何度も読み直し)
⑭保険料		38,600	担当者の傷害総合保険料(10名) (3,860円/年×10人=38,600円)
⑮旅費			
小計(①)	0	294,600	
⑯新型コロナウイルス 感染症防止対策経費	0	26,800	検討会等の会議開催時の検温、消毒 用機器の購入
小計(②)	0	26,800	
支出合計(①+②)	0	321,400	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	希望する ☒ 希望しない
----------------	---

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。